

日医工MPI行政情報

<http://www.nichiiko.co.jp/stu-ge/>

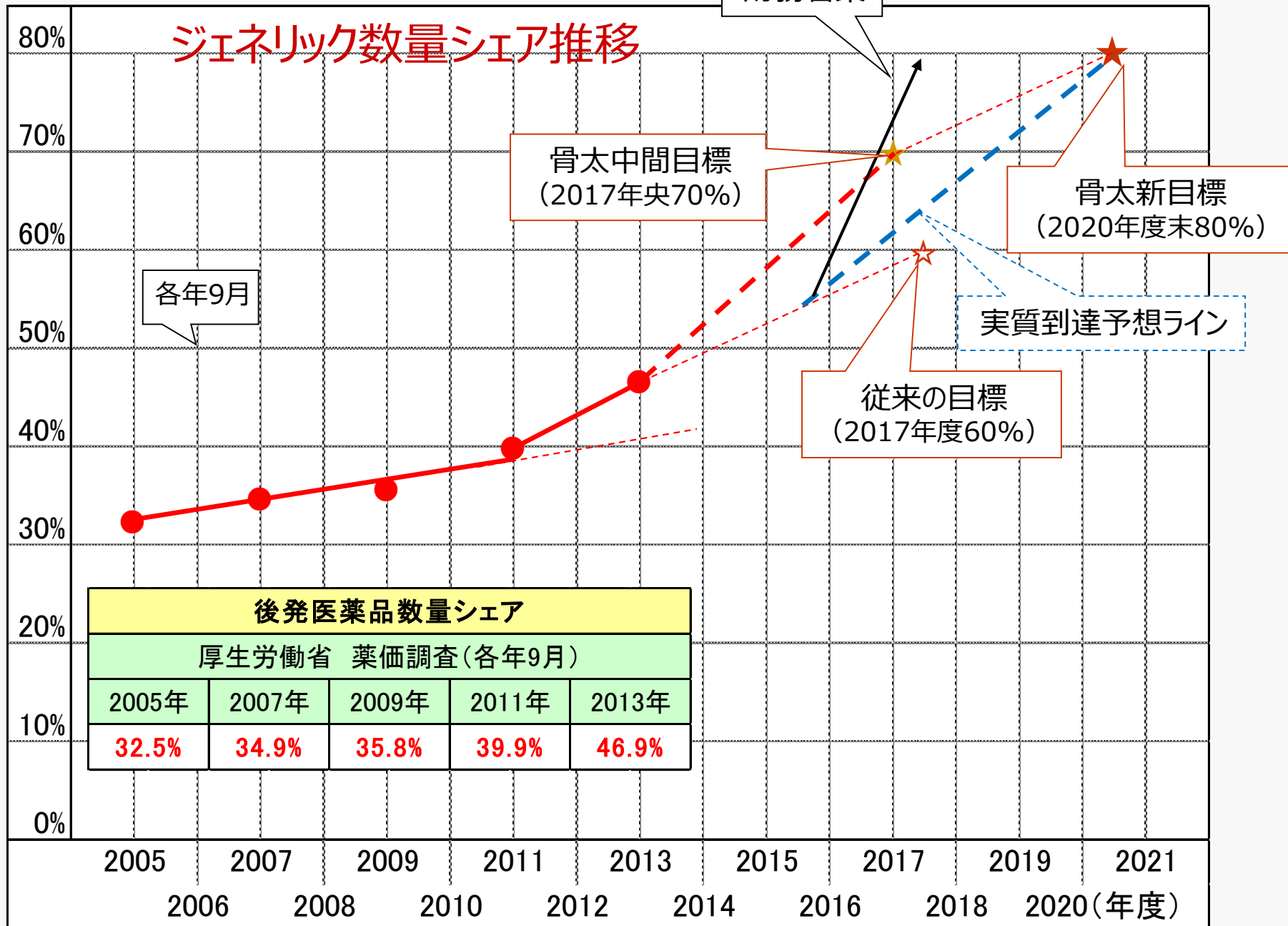
ジェネリックシェア新目標 (2015年骨太の方針)

株式会社日医工医業経営研究所(日医工MPI)
(公社)日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4217号 菊地祐男

資料No.20150707-398



株式会社日医工医業経営研究所



グラフ解説

過去5回実施された厚労省薬価調査に基づくジェネリック数量シェアを「赤丸」でプロットした。（グラフの縦軸は、各年の9月（薬価調査月）としている）

2005年度から2011年度の4点の傾向と比べて、2013年度のシェアは明確に上昇に転じており、従来目標の60%達成に向けて順調な経過を見せていた。

2015年の骨太の方針において、「2017年央（なかば）に70%以上、2018年度から2020年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上」と新目標が記載された。

2013年の実績から2017年度70%までのラインは赤太破線となるが、2016年度改定のジェネリック促進策の影響が出始めるのが2015年度末頃からとすると、青太破線が実質の到達ラインとなり、かなり急角度の伸長が必要なため、ジェネリック供給問題が指摘されており、今後、供給量確保に向けたジェネリックメーカーの供給戦略が重要になってくる。

財務省案「2017年度80%」を黒矢印で表示した。とても現実的とは思えない案であるが、それだけ社会保障費問題やプライマリーバランスゼロの必達が重要な政策であることが推測される。（プライマリーバランスとは、借金に頼らず年度の予算収支賄うことで、安倍政権は2020年までにゼロを目指している。）